

自治協ニュース

第2901号
発行者
八本松住民自治協議会
H29. 5. 20

新体制 あらたなまちづくり計画へ

自治協創設5年目 今年重点是福祉対策と防災対策の組織化

八本松住民自治協議会総会



自治協総会で今年度計画を説明する会長(中央)と新役員

新会長あいさつ



会長 岡久生

このたび、八本松住民自治協議会役員の任期満了に伴う改選により自治協会長という大

4月23日住民自治協議会は八本松地域センターにおいて構成員94名の参加により住民自治協議会総会を開いた。

本年度は役員改選の年で新しく会長に土久岡氏が選任される他、改選役員も過半の8名にのぼった。

当協議会は2013年1月に「ベースづくり長期計画20

任を受けることとなりました土久岡章治です。微力ではありますがありますが前中曾久勝会長の功績を受け継ぎながら、地域の発展のために尽力して参りたいと決意しております。今後、八本松地

「こ」と題するまちづくり計画を策定し、地域を代表する組織として認定・創設されて以来4年間種々な「まちづくり事業」に取り組む一定の成果をあげてきた。

しかし、昨年の重点活動事業「新たな重点活動へ」の意見集約の結果によると、近年、防災・福祉・環境等住民生活に直結する新たな課題が出てきているが現在の自治協にはこれらの課題に適切

に対応できる組織がなく新たな組織の構築が必要との結論に至った。

また、本年度は長期計画を見直す年でもあり、新たな組織の構築に加え住民の皆さまのご意見やアイデアも取入れた将来構

想を基に既存事業の見直しや新規事業を組み込んだ新たな5か年計画を策定することとなった。

なかでも防災組織の見直しと福祉の対応は喫緊の課

題であり、既存の組織を基に地域が動きやすく自治協としてまとまった

横断的取り組みのできる組織の見直しと新設を本年度行うこととなった。

また、自治会部会は「八本松に住んでよかった」と言われるまちづくりを目指すため、地域課題解決の手がかりとして東広島市の行政トップとの意見交換を行う計画がなされた。

住民ファーストをモットーに

しています。また、少子高齢化が進むなかで住民の皆さまのご要望も変わっ

に住民の皆さま

まの声に耳を傾け、「人にやさしく、住みやすく、生活しやすい環境づく

このため、当協議会は「住民ファースト」をモットー

り」に皆さまとともに取り組んでまいる所存です。なにとぞ、自治協の活動にご理解いただき、旧来同様ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

本年度自治協役員

会長	土久岡章治
副会長	信国 武登
副会長	小池 惠美子
副会長	西崎 朋枝
事務局長	西本 達夫
地域センター長	中本 正徳
総務部長	谷杉 清
広報部長	景山 晟
自治部会長	山本 孝喜
文化部会長	岩西 利文
青少年育成部会長	中森 幸恵
体育振興部会長	西崎 朋枝
防犯部会長	高橋 孝明
監査役	花本章次
監査役	沖本 茂雄

避難所総合訓練を実施

八本松中央地区
自主防災会

いつも利用する集会所で



車椅子の操作を丁寧に説明する役員(牧さん・右)

所で避難所運営と要援護者の搬送に合わせ避難所生活の心得など一連の避難所総合訓練を実施した。

八本松中央地区
自主防災会は3月20日、八本松集会所

この日は、子ども9名を含む約50名の住民の方が参加され、初めに集会所前の広場に設置された段差や坂道での車椅子の操作や、毛布と竹を



救護班の健康確認

使った簡易な担架での搬送方法について役員の方の丁寧な説明を受けた。

寧ろアドバイスで実地体験された後、避難所の受付、誘導、待機所での待機を経験。研修会で市危機管理課の中川さんは「避難所生活で最も重要なのは他人に迷惑をかけること、そのため日頃から住民の皆さんが仲良くすることが大切です」と強調した。また、近藤自主防災会会長は小規模ながら集会所が避難所として活用できることを住民の皆さんと確認できたことは大きい。今後とも訓練を重ねることで災害時の防災活動体験の輪を広げたい」と述べた。

避難所生活は

他人に迷惑をかけない我慢！
何もない欠乏生活の我慢！と
日本人の美学
精神と肉体のストレス発散！
住民仲良く過ごしましょう！

「避難所生活には覚悟が必要」と述べる危機管理課中川さん

今年度多発する火災に備え 初期消火訓練

松風ハイツ
自主防災会

ご近所の協力で減災も 日頃の付き合い大切



消火器を火元まで持って走る参加者(右)左は隊員

松風ハイツ自主防災会(会長井ノ宮佳奈さん)は5月14日美化作業に合わせ初期消火の訓練を実施。訓練場所は災害時の地区の集合場所指定されている松風西公園で約100名の住民の方が参加。

最初に消防署西分署の奥元さんは「今年度は火災が多発しており、火の取り扱いに注意するとともに火災に遭遇した場合適切な初期消火に「とめよう」と述べ、公園で小型消火器による訓練を行った。

訓練は大声で火事を知らせ、火元まで消火器をもって移動し消火するもの。みなさん落ち着いて対応されていた。また、指導にあたった消防署の宇根田さんは「屋外では火が見えにくいいため火元に近づきすぎないこと、日頃から消火器の位置を確認しておくこと」等が重要と述べた。

「最近天山ハイツでボヤ火災が発生。子供さんの知らせとご近所の協力で大事に至らなかった。日頃からのご近所付き合いが大切」と述べた。井ノ宮会長は「今後も訓練を継続し、地域の皆さんの関係も高めていきたい」と述べ訓練を終了。

登校時見守り表彰 防犯部会

4月23日自治協総会にて表彰された見守り活動の功績に対し感謝状を贈った。(福家様は都合によりご欠席)



蔵本様 小田様 末山様 吉久様

第1回夜の見回り活動 防犯部会

4月1日、防犯部会は今年度一回目の「夜の見回り活動」を夜8時から実施。参加者15名が青パト車4台でまちをパトロール。特に異常は認められず。高橋部会長は、「この活動も今年で4年目。地域内の安全の為、ご協力よろしく」と呼びかけ見回りを終了した。

お知らせ

八本松小学校区住民自治協議会の名称は総会決議により八本松住民自治協議会に変更されました。